

平成19年度学校評価システム構築事業 実践、成果と課題

東根市立神町中学校

1 19年度 実践

月 日		実践事項	付 記
19年 6月		学校だより「神中ジャーナル第1号」の発行	※学校評価の内容について紹介 学区内全戸配布
6月14日	木	第1回学校関係者評価委員会	① 19年度学校経営方針 ② 今年度の学校関係者評価の進め方
7月～8月		評価項目などの吟味	
9月2日	日	第2回学校関係者評価委員会	運動会参観
10月5日～		第1回自己評価 第1回生徒評価 第1回保護者評価 ＜集計分析作業＞ ＜集計分析冊子編集＞	○教職員による評価 ○生徒による評価 ○保護者による評価
10月22日	月	第3回学校関係者評価委員会	第1回評価の結果提示・懇談会
10月28日	日	第4回学校関係者評価委員会	文化祭参観
11月12日	月	学校だより「神中ジャーナル第8号」の発行	※学校評価の結果ダイジェスト特集 学区内全戸配付
11月下旬		第2回評価に向けて、評価項目の吟味	
12月上旬		第2回自己評価 第2回生徒評価 第2回保護者評価 ＜集計分析作業＞ ＜集計分析冊子編集＞ ＜内部評価報告書作成＞	○教職員による評価 ○生徒による評価 ○保護者による評価
12月21日		第5回学校関係者評価委員会	第2回評価の結果提示・懇談会 内部評価報告書の作成・提示
20年 1月上旬		第6回学校関係者評価委員会	外部評価報告書の作成・提出 (指導・助言)
		・20年度学校経営・運営ビジョンの構築。 ・20年度教育課程編成	

2 成果と課題

(1) 成果

- ①この2年間の事業の展開において、特に学校関係者評価委員の方々から年間で数回、来校していただき、学校や生徒の様子を直接観察していただいたことは、たいへんありがたく、「風通しの良い学校運営・学校経営」の一助となった。
- ②教職員は、評価活動を通じて、学校全体や自己の課題を把握し、改善策等を自己自身の問題として考えるようになった。
- ③学校評価活動は、教職員一人ひとりの経営参画意識を高め個々の職員の資質を向上することにもなった。
- ④学校評価活動は教育課題を明確にし、次年度の教育課程策定の参考となった。
- ⑤評価の結果が掲載された学校新聞「神中ジャーナル」を学区内全戸配付することにより、地域住民に学校の様子を広くお知らせすることができた。

(2) 課題

- ①学校関係者報告書で提言された、項目について次年度どのように改善を図るか、校内で検討する。
- ②年間2回の評価は1学期末、2学期末に実施する。
- ③学校関係者評価委員の選定と任命の検討。
- ④学校関係者評価委員会の持ち方の検討。
- ⑤評価項目の吟味
 - ・ 評価項目の精選。
 - ・ 生徒、職員、保護者からの評価を項目ごとにリンクさせる。
- ⑥保護者については、自己評価をしてから、他の評価を実施してもらう。
- ⑦今年度の評価で低かった項目について、教育課程や分掌で改善・工夫をし、高めていく。
- ⑧評価結果の広報について
 - ・ PTA 新聞「ふれあい」への掲載と全戸配布。
 - ・ ホームページの公開。
- ⑨評価の手立て、評価活動、集計作業事務の効率化。
- ⑩校内学校評価委員の自覚と同委員会の活性化。(会議の精選との兼ね合い)